

## 東北・高崎・常磐線と東海道線を直通運転する路線の名称についての要望書

平素から、台東区内の鉄道の整備や地域の発展に対しまして格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

貴社では、平成26年度に東北線・高崎線・常磐線の一部を東京駅まで乗り入れし、あわせて東海道線と直通運転する列車の運行を開始される予定と伺っております。この路線の開業により、これまで以上に川崎・横浜方面からの来街者が増加し、年間約4千万人を超える来街者を迎える本区は、さらにはにぎわいを増すものと期待しております。

本区は、上野・浅草といった国際的観光地を擁しており、江戸の歴史が感じられる伝統文化、大衆芸能や文学に根ざした歴史・芸術、四季の風物ともなっている地域の祭り等、多彩な魅力を備えています。

特に上野は、江戸時代の寛永寺創建からはじまり、現在では、博物館・美術館などが集まる、まさに文化の中心と呼ぶにふさわしい地域であります。また、上野駅は「日本初の私鉄駅」という歴史を有し、明治期から東北へ通じる鉄道が敷かれ、長く北の玄関口として親しまれてまいりました。「心の駅」ともうたわれ、現在、1日に約35万人もの乗降客のある代表的なターミナル駅となっています。

このように「上野」は、その培われた伝統や文化とともに、わが国の鉄道の象徴として日本人の心に深く浸透しているといっても過言ではありません。貴社の進める、地域と連携した観光の発展・創造、及び地域活性化の取り組みの一環としても、わが国を代表する観光地台東区「上野」を明示することは、将来的な波及効果が大きいものと考えます。

よって、台東区議会は、貴社に対し、東北・高崎・常磐線と東海道線を直通運転する路線の名称に「上野」の2文字を入れていただきますよう、強く要望いたします。

平成24年10月25日

台東区議会議長 青柳雅之

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 あて